

# CDP 気候変動 2017 結果報告

ロイドレジスタージャパン株式会社  
取締役  
富田秀実



Working together  
for a safer world

# CDP2017 気候変動質問書 スコアリングパートナー



レポートライター&スコアリングパートナー



スコアリングパートナー



# CDP 気候変動 2017

## CDP 気候変動質問書

- ・ グローバル企業対象：15回目
- ・ 日本企業対象：12回目

## CDP ジャパン500回答社数と回答率

- ・ 2010年        214社        43%
- ・ 2014年        233社        47%
- ・ 2015年        246社        49%
- ・ 2016年        265社        53%
- ・ 2017年        283社        57%

**57%**  
日本企業の回答率  
(283/500)

グローバル500    77%  
FTSE350 (英)    57%  
S&P500 (米)    66%

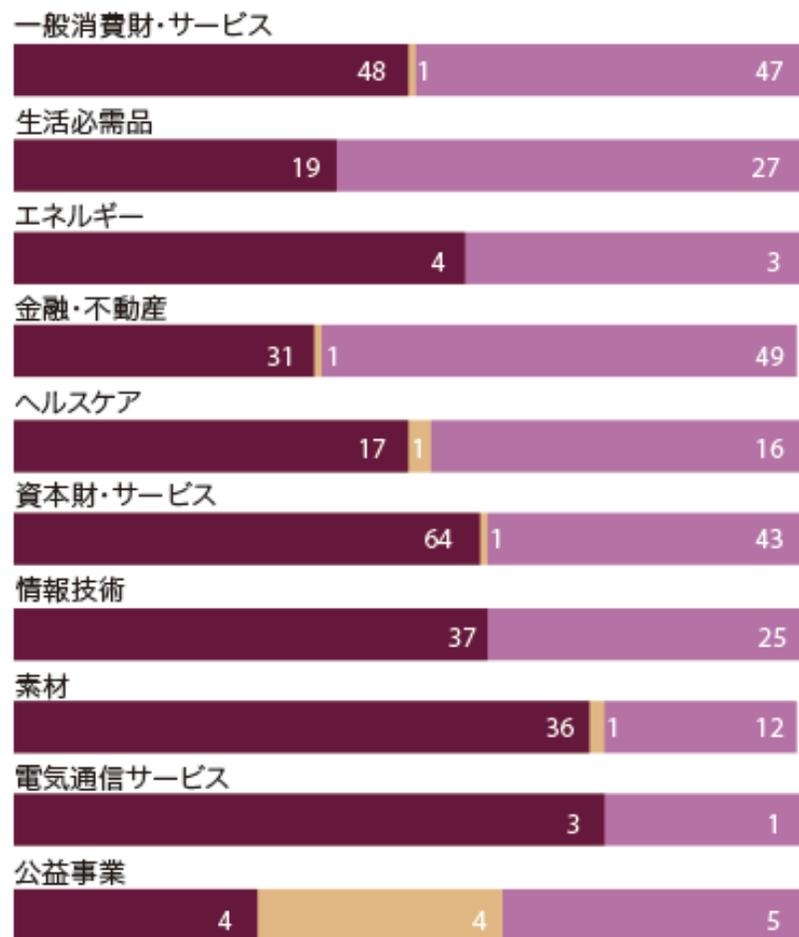
回答率は継続的に向上、英国FTSE350と並ぶ。

# セクター別回答企業数（日本）

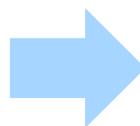
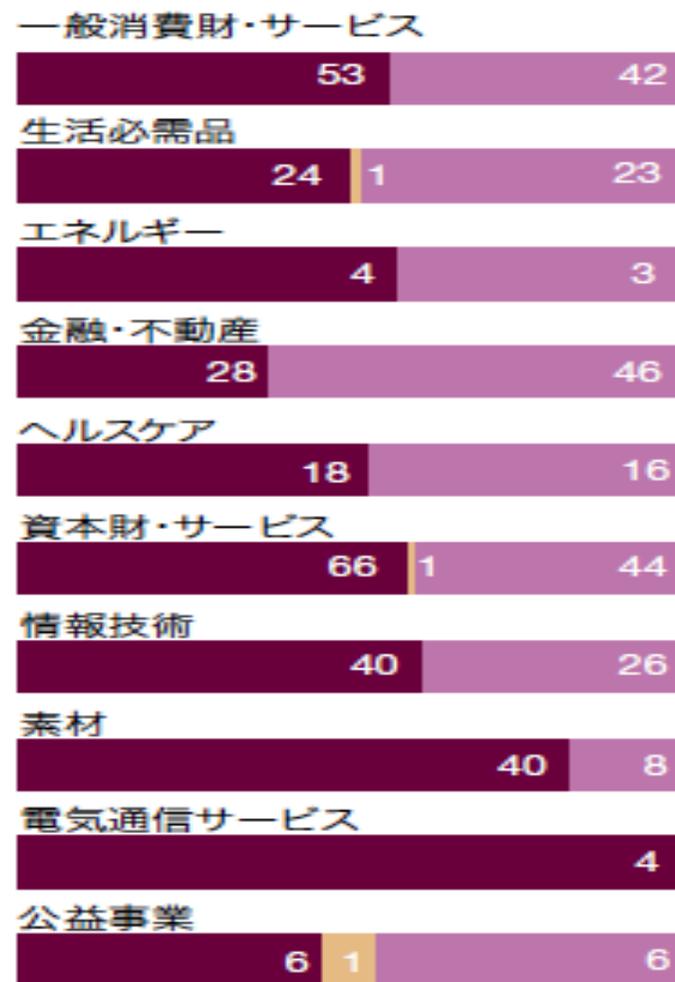
▼ AQ+SA: 回答、親会社による回答  
▶ DP: 回答辞退  
▶ NR: 無回答

▶ DP: 回答辞退  
▶ NR: 無回答

## 2016年



## 2017年



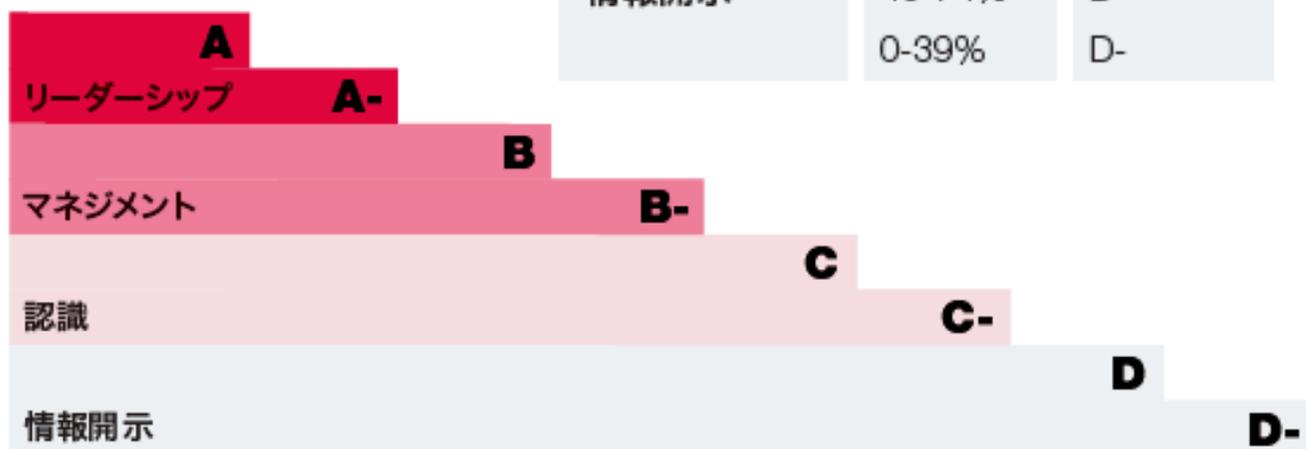
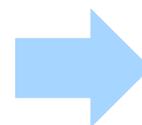
# スコアリング方法

2016年

リーダーシップ	75-100% 0-74%	A A-
マネジメント	40-74% 0-39%	B B-
認識	40-74% 0-39%	C C-
情報開示	40-74% 0-39%	D D-

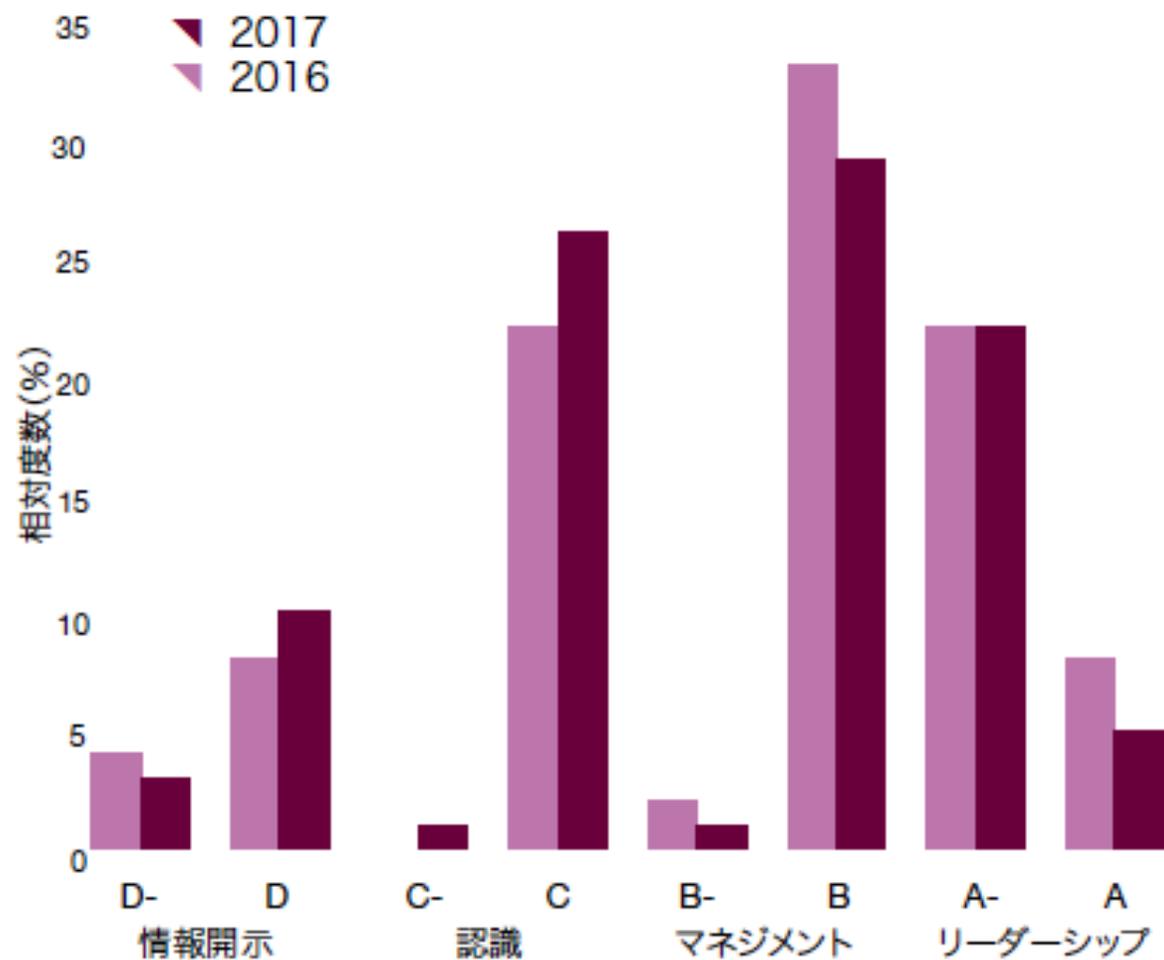
2017年

リーダーシップ	80-100% 0-79%	A A-
マネジメント	45-79% 0-44%	B B-
認識	45-79% 0-44%	C C-
情報開示	45-79% 0-44%	D D-



F: CDP気候変動質問書の回答評価を行うのに十分な情報を提供していない。<sup>1</sup>

# スコア分布（前年との比較）



# Aリスト

Aリスト：13社（昨年22社）

- うち7社がSBT認定

**13社**

Aリスト選出日本企業

## 一般消費財・サービス

住友林業 Japan

ソニー Japan

トヨタ自動車 Japan

## 生活必需品

キリンホールディングス Japan

## 金融

MS&ADインシュアランスグループホールディングス Japan

SOMPOホールディングス Japan

## 資本財・サービス

川崎汽船 Japan

小松製作所 Japan

ナブテスコ Japan

三菱電機 Japan

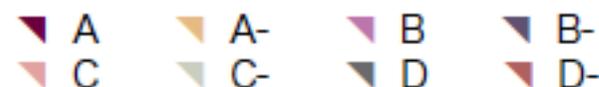
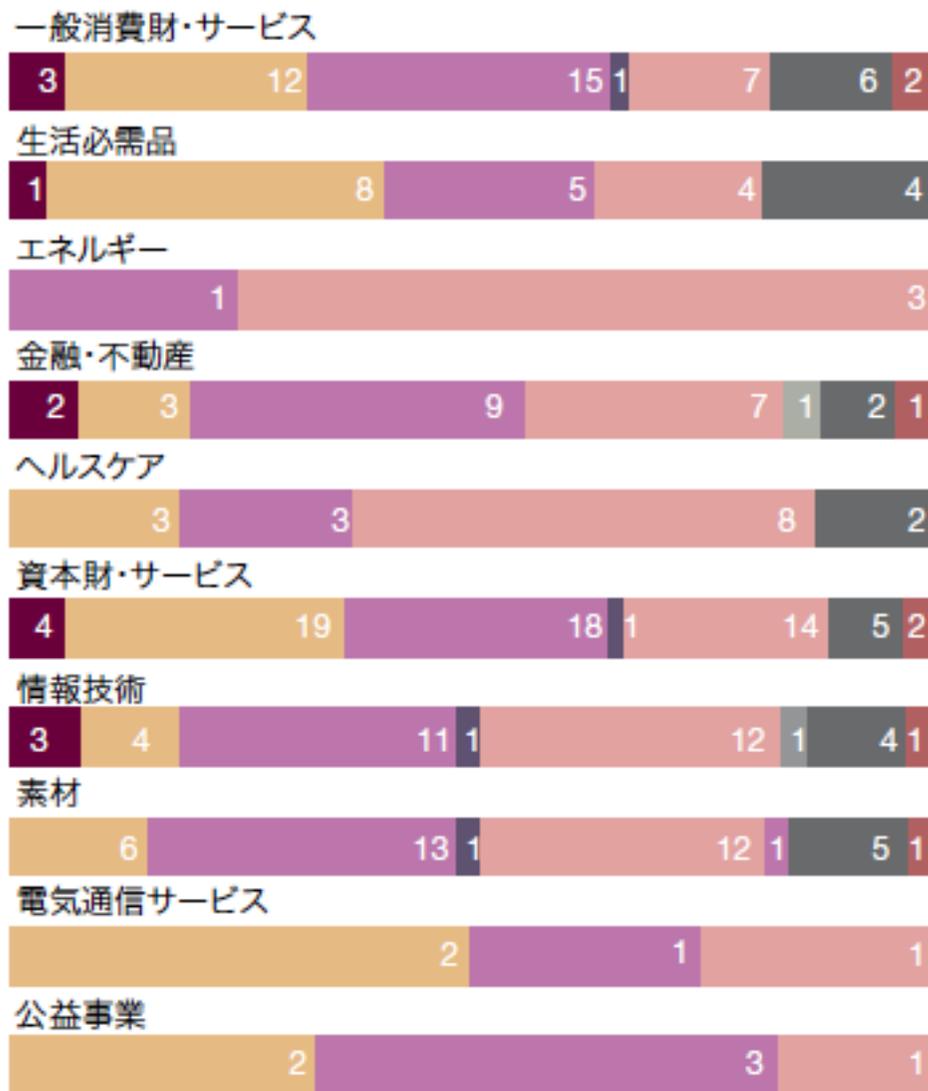
## 情報技術

コニカミノルタ Japan

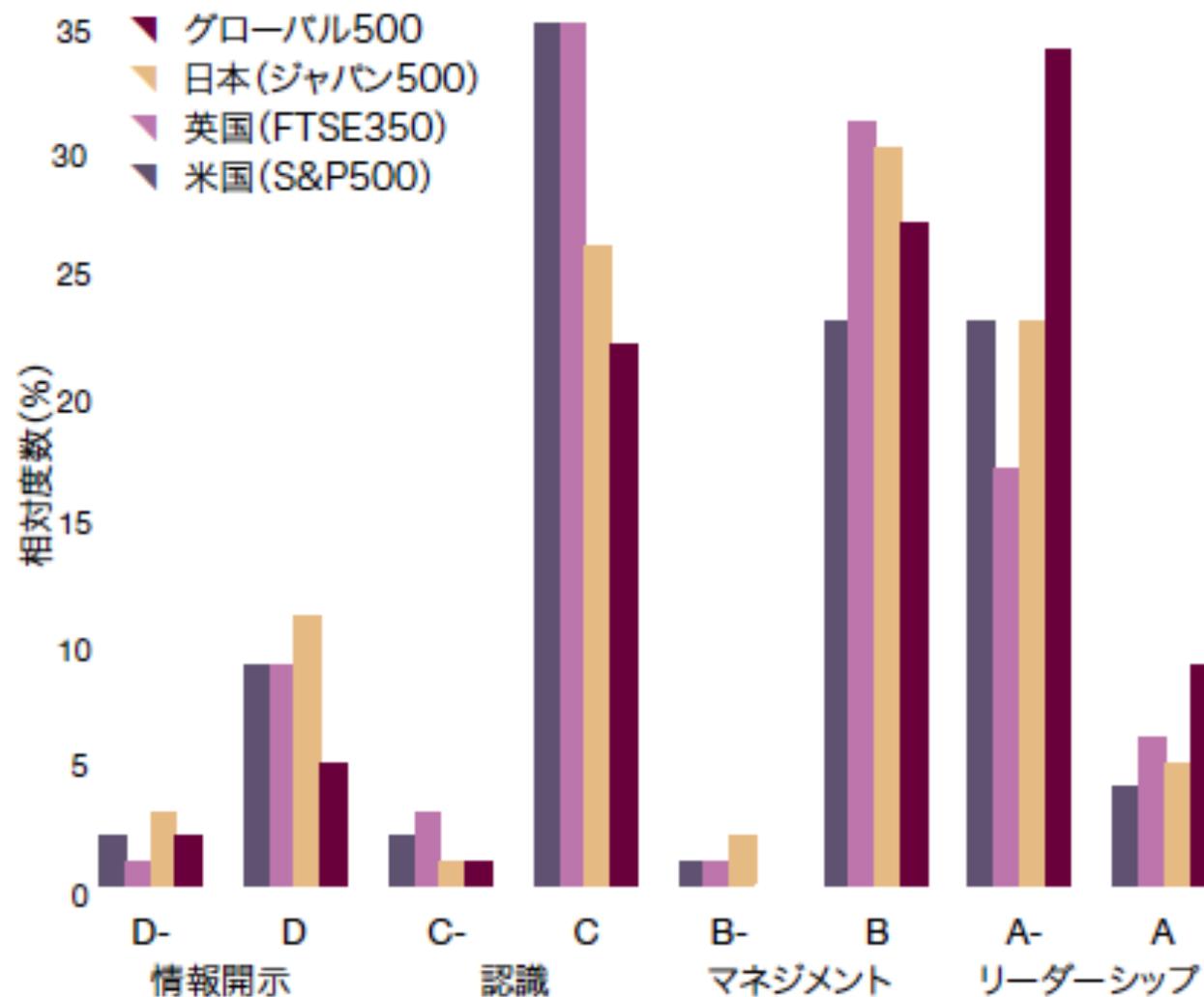
富士通 Japan

リコー Japan

# スコア分布（セクター別）



# スコア分布（他国との比較）



# 回答公開率

## ジャパン500

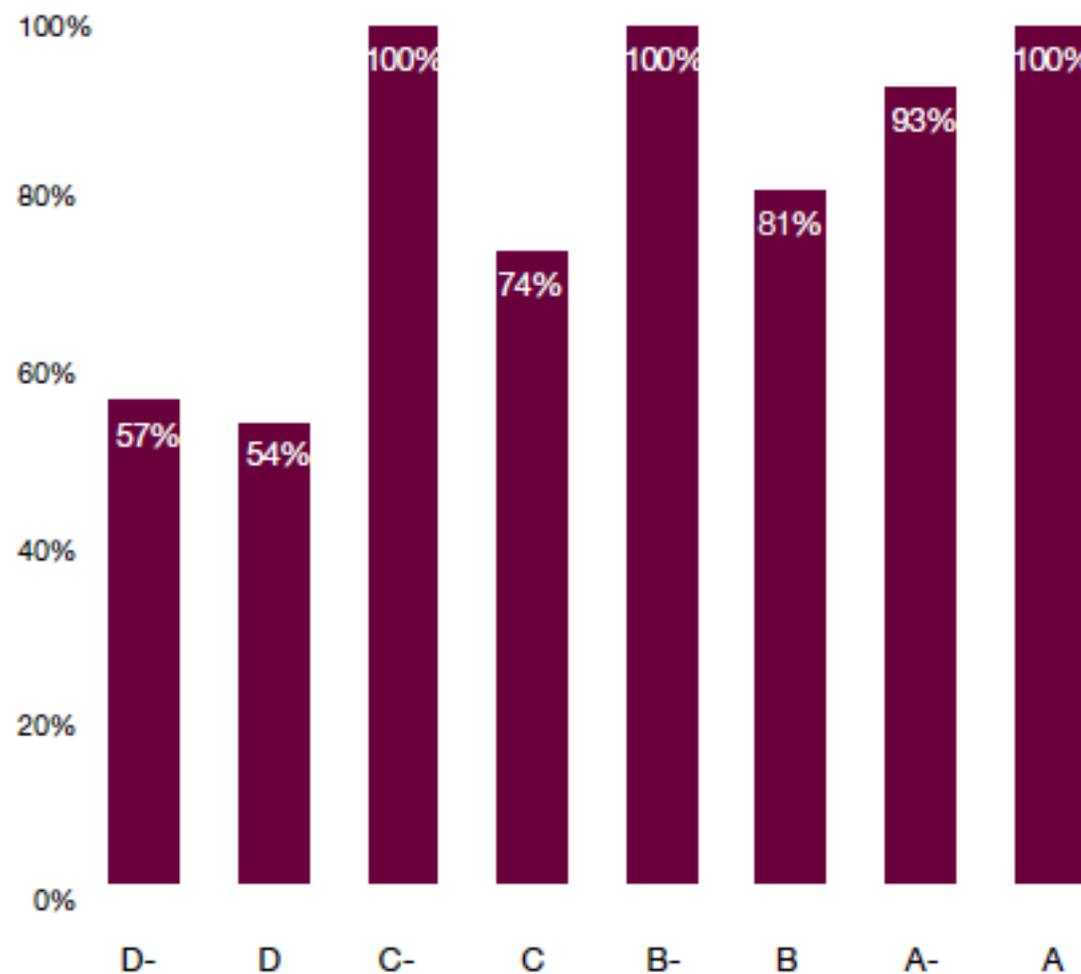
- 80% (2017)
- 77% (2016)

## 英国FTSE350

- 88% (2017)

## 米国S&P500

- 93% (2017)



# ガバナンス

気候変動に対する責任を負っている最高機関（CC1.1）

- 95%：取締役会または取締役や取締役会が指名した個人／委員会

インセンティブを受ける対象者（CC1.2）

- 18%：取締役会、取締役、CEO, CFO, COO

CDP回答の承認（CC15.1）

- 51%：取締役レベルないしCEO、CFO、COO

# 戦略

## 戦略 (CC2.2)

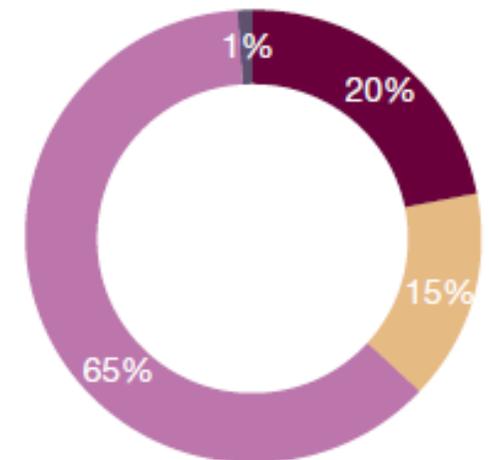
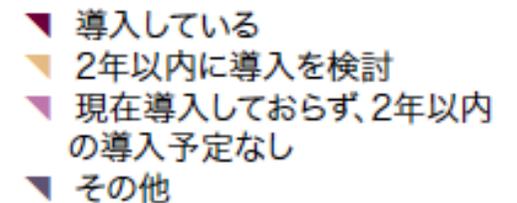
- 95% : 気候変動がビジネス戦略に組み入れられている

## カーボンプライシング

- 37% : 導入済み、もしくは、2年以内に導入

## 気候変動政策へのエンゲージメント (CC2.3)

- 49% : 直接のエンゲージメント
- 86% : 業界団体を通して



# リスクと機会

## リスク管理手法（CC2.1）

- 89%：多分野にわたる企業全体のリスク管理プロセスに統合

## どの程度の将来のリスクまで考慮しているか（CC2.1a）

- 61%：6年超

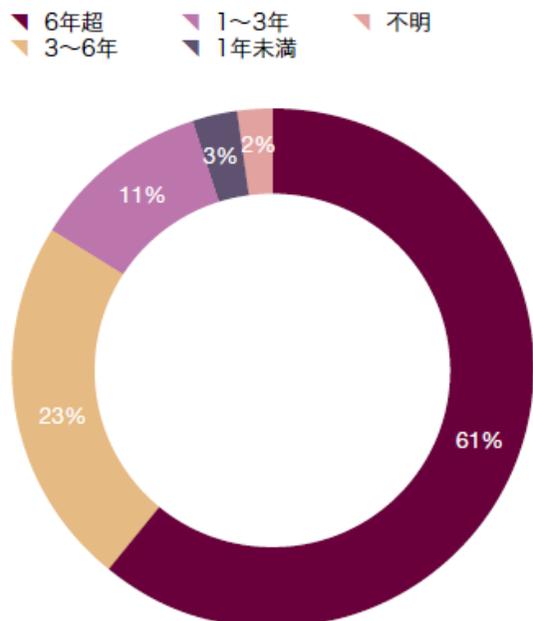
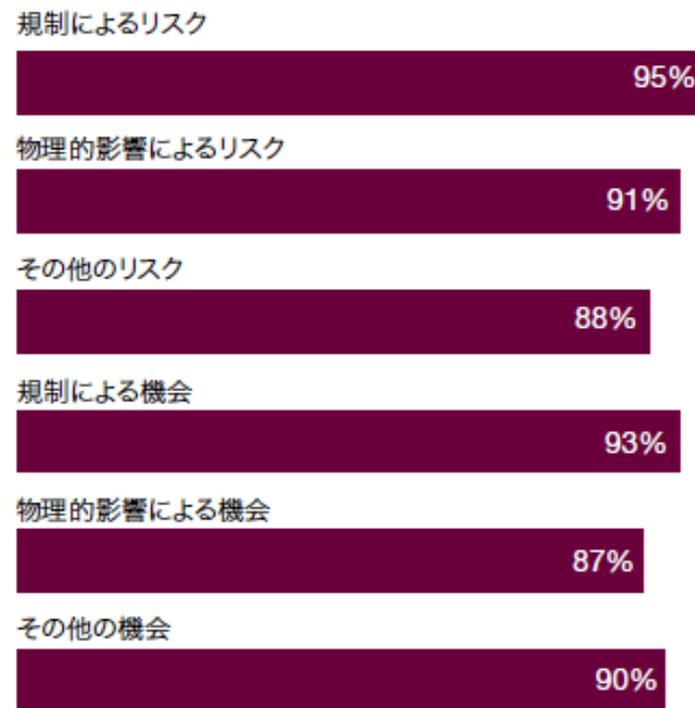
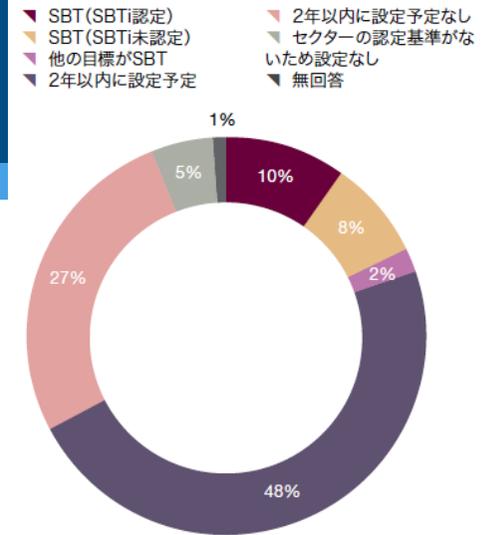


Figure 9. 気候変動リスクと機会

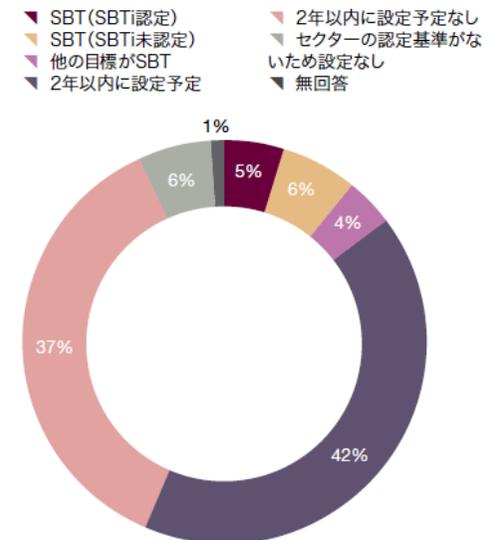


# 排出削減目標とSBT

- 総量目標を設定している：63%（昨年68%）
  - SBT目標：18%（昨年10%）
  - 2年以内にSBT設定予定：48%（51%）



- 原単位目標を設定している：72%（昨年68%）
  - SBT目標：11%（昨年14%）
  - 2年以内にSBT設定予定：42%（36%）



- 再生可能エネルギーに関する目標設定を行っている：21%（昨年17%）

# 総括

回答状況：ジャパン500の回答率は、57%と微増の傾向を維持

- ・ 非回答企業との二極化が固定化される傾向
- ・ 回答情報を非公開とした企業の割合が20%まで低下したが、依然として高い

スコア：A、A-の高いスコアを獲得した企業が27%

- ・ A、A-は、昨年よりやや減少
- ・ 英国、米国と同等なレベル

気候変動問題に関する責任体制

- ・ 高いレベルで経営への統合が進んでいる回答
- ・ 気候変動に対するインセンティブやCDPの回答の承認に課題

スコープ1+2全体の排出量

- ・ 増加したと回答した企業は48%（昨年40%）
- ・ 減少したと回答した企業は47%（昨年55%）
- ・ 排出量削減施策が着実な成果をあげているとは言いがたい状況

ロイドレジスタージャパン株式会社  
取締役 事業開発部門長  
富田秀実

Tel: 045-670-7443

E-mail: [hidemi.tomita@lr.org](mailto:hidemi.tomita@lr.org)



Working together  
for a safer world